



魚津市12月補正予算(案)について

一般会計補正額 569,751千円(うち一般財源 243,716千円)

12月補正後の一般会計予算総額 19,123,183千円

◇子育て支援

【拡充】産婦人科環境整備事業

富山労災病院と連携し、同病院内に分娩できる施設を整備し安心して産み育てることができる環境を整えるもの。

○産科概要

病床:8床、LDR:2室

正常分娩を基本とし、リスクの高いケースは、県が定める周産期医療の提供体制において対応

* LDR(Labor Delivery Recovery)

…陣痛室、分娩室、回復室が一体となった個室で、妊婦さんは移動することなく一つの個室で過ごしていただくもの。

○開設時期

平成32年4月頃を予定

○実施主体

富山労災病院

○改修工事費

総事業費270,000千円(うち平成30年度分 108,000千円)



【事業費】 108,000千円

【財源】 市 108,000千円

【担当】 産婦人科開設準備室 24-3999

◇教育環境充実

【拡充】学校施設安全対策(ブロック塀改修)

市内小中学校にある建築基準法等に抵触するブロック塀等について、撤去・改修を進めているところである。今年度国補正予算にて創設されたブロック塀安全対策についての臨時特例交付金を活用し、今回すでに撤去を行なった、よつば小学校プールブロック塀に代わる境界フェンスを設置するもの。

よつば小学校プールフェンス塀 L= 50m H=2.55m

(コンクリート基礎 高さ75cm スチール製フェンス 高さ1.8m)

【事業費】		3,000千円
【財源】	国	1,000千円
	市	2,000千円
	(うち市債	2,000千円)

【担当】 教育総務課 23-1043

【新規】小学校・幼稚園空調設備整備

今年度国補正予算にて創設された冷房設備についての臨時特例交付金を活用し、市内の小学校・幼稚園の普通教室空調設備の整備を行なうもの。これにより魚津市内小中学校、幼稚園の普通教室の空調整備率は100%となる予定。(星の杜小学校整備を含む)

道下小学校 16教室

経田小学校 8教室

大町幼稚園 3教室

【事業費】		70,258千円
【財源】	国	15,879千円
	市	54,379千円
	(うち市債	54,300千円)

【担当】 教育総務課 23-1043
こども課 23-1079

【新規】ふるさと教育推進事業

魚津市では「魚津市ふるさと教育スタンダードプラン」に基づき、魚津の「自然、歴史・文化、産業、人」に触れ、学び、ふるさとに誇りと愛着をもち、心豊かに生きる子供の育成を目指している。

その趣旨に賛同いただいた企業等より寄附の申出があったため、その寄附金を活用し、現在建設中の星の杜小学校内に、本市の偉人、先人を学ぶ施設の整備等を行う。また、寄附金の一部は、ふるさと教育振興基金に積立するもの。

寄附金額 50,062千円

【偉人・先人を学ぶ施設整備】 40,000千円

設置場所 星の杜小学校1階

展示面積 約20m²

整備内容 展示パネルの作成、映像機器整備等

【ふるさと教育振興基金積立】 10,062千円

上記施設の維持管理費やその他のふるさと教育活動推進のための費用



【事業費】 50,062千円

【財源】 寄附金 50,062千円

【担当】 教育総務課 23-1043

【新規】室内温水プールPFI導入可能性調査事業

新しい魚津市室内温水プールの整備に関して、PFI※1・PPP※2など様々な事業手法で実施した場合のメリット、デメリットの検証や、新しいプールの市場性や在り方等を調査し、よりよい公共サービスの提供につなげられる事業手法の選定につなげるもの

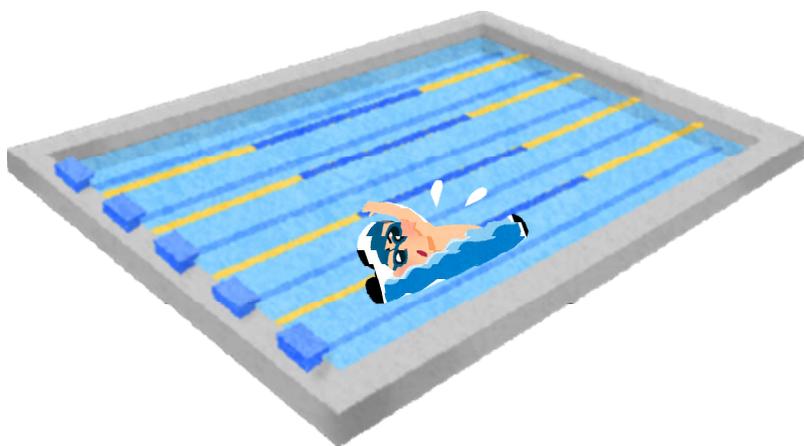
<主な調査内容>

- ・既存施設の動向や将来需要の予測
- ・施設の構成や概略規模等の検討
- ・事業手法の検討
- ・事業者の意向把握
- ・簡易VFM※3の試算

※1: Private Finance Initiative 公共施設の整備に民間の資金や技術力、経営能力を活用する手法

※2: Public Private Partnership 公民が連携して公共サービスの提供を行う手法。PFI、指定管理者制度、市場化テスト、包括的民間委託、自治体業務のアウトソーシング等も含まれる。

※3: Value For Money 従来の方式と比べてPFIの方が総事業費をどれだけ削減できるかを示す割合



【事業費】 3,374千円

【財源】 市 3,374千円

【担当】 生涯学習・スポーツ課

23-1046

◇高齢社会対策

【拡充】地域密着型介護基盤整備事業

(定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所)

第7期介護保険事業計画において、在宅サービスについては状態の維持や重度化防止を目指して、通所リハビリテーション等に重点をおいている。

高齢社会化が急速に進んでいく中、特に在宅介護の必要性が増している。中でも医療との連携は不可欠なものであり、24時間対応の介護と医療が連携したサービスである定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所を整備するため、富山県地域密着型介護基盤整備事業費補助金を活用して、民間事業所に補助するもの。事業者は公募により選定する。

- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所整備 1施設 5,670千円
- 介護施設等の施設開設準備 13,300千円
- 選定委員会の開催 90千円

(今後のスケジュール)

- 平成30年12月下旬 公募案内
- 平成31年2月中旬 公募締切り
- 平成31年2月下旬 地域密着型サービス運営委員会にて業者選定
- 平成31年度中 施設完成見込み



【事業費】		19,060千円
【財源】	県	18,970千円
	市	90千円

【担当】 社会福祉課 23-1148

◇産業振興

【拡充】企業立地事業(中小企業立地促進助成金)

市内において工場・事業所の新設、増設、移転を行う企業の土地又は建物の取得費に対して助成を行うことにより、市内中小企業の振興、雇用の拡大及び既存企業の流出防止を図るもの。

◎助成金概要

(交付要件)

- ① 工場・事業所の新設・増設・移転のために土地又は建物を取得すること
- ② 常時雇用労働者のうち市内在住者3人以上を新規に雇用すること
- ③ 土地又は建物取得後3年以内に操業すること

(補助内容)

土地：取得額の30% 又は 取得面積×3,000円/㎡のいずれか低い額

建物：取得額の5%(改装費用含む)

※限度額は土地及び建物取得助成を合算して2,000万円

◎補正理由 助成申請見込額が当初予算額を上回るため。

◎対象案件 2件(製造業、運輸業)



【事業費】	当初予算	10,811千円
	12月補正	9,700千円
	計	20,511千円

【財源】 市 9,700千円

【担当】 商工観光課 23-6195

【新規】農作物台風被害緊急対策事業

平成30年9月4日の台風21号の強風により、甚大な被害があったりんご、白ねぎ等の出荷組合等に対し、緊急の復旧対策などの支援を講じ、農家の生産意欲の確保、次年度以降の生産安定を図るもの。

【事業概要】

台風の被害を受けた圃場において、病害防除用農薬散布、追肥散布、折損樹体の復旧に要した費用に対し、補助金を交付する。

富山県における台風21号被害の緊急対策事業の実施に合わせ当市でも予算措置を講ずるもの。

- ・実施主体(補助対象者) 加積りんご組合、上野方りんご組合、西布施りんご組合
JAうおづねぎ出荷組合
- ・補助対象品目 りんご、白ねぎ



【事業費】		2,400千円
【財源】	県	1,200千円
	市	1,200千円

【担当】 農林水産課 23-1034

◇魅力的なまちづくり

【継続】農林業施設災害復旧事業・災害応急事業

7月～8月の大雨、台風21号、24号の被害から農林業施設の早急な機能回復を行い、農林業生産の継続を図るもの。

○農地復旧14件、水路復旧4件、道路復旧2件 26,136千円



【事業費】	当初予算	26,100千円
	12月補正	26,136千円
	計	52,236千円
【補正財源】	県	12,843千円
	地元負担	4,179千円
	市	9,114千円(うち市債 7,800千円)
【担当】	農林水産課	23-1037

○林道、農業用水路の崩土・倒木除去 4,600千円

【事業費】	現計予算	8,700千円
	12月補正	4,600千円
	計	13,300千円
【補正財源】	市	4,600千円
【担当】	農林水産課	23-1037



【新規】片貝移住体験施設整備事業

平成28年度に、県の指定する「移住者受入れモデル地区」に片貝地区が選定され、片貝地域振興会(片貝来られプロジェクト)が5ヶ年計画で事業を実施している中、移住体験施設として活用する空き家が選定されたため、31年度から受入れできるよう、空き家の改修を行うもの。

1週間程度の滞在可能な宿泊体験施設の希望者は多く、移住希望者が実際に魚津での生活を体験し、地域住民と交流することで魚津の魅力を知ってもらい定住に繋げたい。

(補助内容) 屋根、建具の修繕工事及び電化製品等の備品購入費



【事業費】		1,098 千円
【財源】	県	549千円
	市	549千円

【担当】 地域協働課定住応援室
23-1095